

生理学研究所研究会

『カルシウムシグナリング研究の新潮流2』

開催日: 2006年11月16日(木)~17日(金)

場 所: 自然科学研究機構 岡崎コンファレンスセンター 中会議室 (愛知県岡崎市)

代表者: 徳田 雅明(香川大学医学部)

所内世話人: 井本 敬二(神経シグナル部門)

11月16日(木)

13:00-13:05 開会挨拶 井本 敬二(生理学研究所)

第1部 生体反応とカルシウムシグナル

13:05-13:15	カルシウムシグナリング 山内 卓(徳島大学薬学部大学院)
13:15-13:55	CaMを介したスフィンゴ脂質代謝制御 光武 進(北海道大学薬学部・大学院薬学研究科)
13:55-14:35	CaMによる脂肪酸修飾タンパク質を介した膜画分-細胞質間シグナル伝達の制御 林 宣宏(藤田保健衛生大学総合医科学研究所)
14:35-15:15	トロポニン突然変異による遺伝性心筋症の病態発現機構 森本 幸生(九州大学大学院医学研究院)

15:15-15:30 Coffee brake

15:30-16:10	抗原レセプターを介するカルシウム制御機構 黒崎 知博(理化学研究所)
16:10-16:50	活性酸素、カルシウムによるマスト細胞の活性化生存制御機構 鈴木 良弘(日本大学医学部先端医学総合研究センター)
16:50-17:30	インスリン分泌機構におけるCdk5によるカルシウムシグナル制御 富澤 一仁(岡山大学大学院医歯薬学総合研究科)

18:30-20:30 懇親会

11月17日(金)

第2部 神経機能とカルシウムシグナル

8:30-9:10	調節性小胞輸送におけるシナプトタグミン様蛋白質(Slp)の役割 福田 光則(東北大学大学院生命科学研究科)
9:10-9:50	代謝型受容体相互作用によるシナプス後シグナルの調節 田端 俊英(大阪大学大学院医学系研究科)
9:50-10:30	CaMキナーゼカスケード標的分子の探索と機能調節 徳光 浩、小林 良二(香川大学医学部)

10:30-10:45 Coffee brake

10:45-11:25	新規CaMキナーゼCLICK-III/CaMKIγによる樹状突起形成制御 竹本さやか、石原奈津実(東京大学大学院医学系研究科)
11:25-12:05	CaMキナーゼのin vivoにおける活性制御と脳高次機能に対する役割の解明 喜田 聡(東京農業大学応用生物科学部)
12:05-12:45	活性酸素ストレスとCaMキナーゼ 渡邊 泰男(昭和薬科大学)、徳田 雅明(香川大学医学部)
12:45-12:55	総括 徳田 雅明(香川大学医学部)